（様式第１号）（第９条関係）

事業基本計画書

令和7年　　3月　　19日

長野県知事　様

住　所　長野県小県郡青木村夫神332-1
氏　名　株式会社グリーンプランフォー
　　代表取締役小林桂三

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第９条第１項（第21条第３項、第27条及び附則第６項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所		塩尻市大字柿沢字笹山712-6,712-14 塩尻市大字柿沢字入山714-2
事業区域の位置及び面積		別添位置図及び事業区域図のとおり 1603㎡
太陽光発電力施設の合計出力		49.5　　kW （太陽電池の合計出力　119.38　kW）
太陽光発電事業の内容及び実施予定期間	発電電力の用途	☑売電　　□自家消費 設備ID（　無し　小売電気事業者との相対契約　　）
	設置工事着手予定日	令和　7年　6月　9日
	設置工事完了予定日	令和　7年　12月　9日
	運転開始予定日	令和　8年　1月　9日
	施設撤去予定日	令和　48年　1月　9日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		スクリュー杭、アルミ架台、パネル角度15度
景観の保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		該当なし
維持管理計画に関する事項		別添「維持管理計画」参照
関係市町村長及び関係住民の範囲並びにその根拠	範囲	旧塩尻字柿沢区　全戸
	根拠	「塩尻市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例」に基づく

事業基本計画説明会の開催の日時及び場所	日時	令和　　7年　　4月　　9日 午後　　7時半より
	場所	柿沢公民館
意見の提出先	〒386-0012 長野県上田市中央2-10-15 株式会社グリーンプランフォー e-mail：kinokopw4170@gmail.com	
土地の権原の取得予定	説明会実施後に地域住民の意見を聴き事業性を判断。その後取得予定。	
地域社会に資する事項	自治会費の納付	
備考	連絡先　株式会社グリーンプランフォー （電話番号）0268-71-6750 （FAX番号）0268-71-6751 （電子メールアドレス）kinokopw4170@gmail.com	

注１　該当する□内にレ印を記入すること
２　「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
３　「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第１位まで記載すること。
４　「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第１位まで記載すること。
５　「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第９条第１項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
６　「備考」欄には、電話番号、ＦＡＸ、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

（参考様式）（第９条関係）

太陽光発電施設設置計画書

<table>
<tr><td>防災対策等設置施設</td><td colspan="3">☐調整池　☐沈砂池　☑排水設備　☐擁壁
☐管理用道路　☐その他（　　）</td></tr>
<tr><td>特定区域の該当
※該当するものは事業区域図に明示すること</td><td colspan="3">☐地域森林計画対象民有林　☐地すべり防止区域
☐急傾斜地崩壊危険区域　☐土砂災害特別警戒区域
☐砂防指定地
☑該当なし</td></tr>
<tr><td>環境配慮区域の該当
※50 キロワット以上の事業に限る
※該当するものは事業区域図に明示すること</td><td colspan="3">☐国有林・地域森林計画対象民有林
☐国立公園・国定公園・長野県立自然公園
☐長野県自然環境保全地域　☐郷土環境保全地域
☐水道水源保全地区　☐水資源保全地域
☐希少野生動植物の生息地等保護区　☐鳥獣保護区
☑該当なし</td></tr>
<tr><td>工程表</td><td colspan="3">別紙</td></tr>
<tr><td>工事車両の運行計画</td><td colspan="3">想定される台数（延べ）　3 台　/ 1 日（延べ 400 台）
運行時間　　8：00～17：00
経路　　別紙事業区域図に記入</td></tr>
<tr><td rowspan="4">造成工事</td><td>盛土の有無</td><td>有 ・ (無)</td><td>想定盛土量　　㎥</td></tr>
<tr><td>切土の有無</td><td>有 ・ (無)</td><td>想定切土量　　㎥</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業区域外からの搬入量</td><td>―　㎥</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業区域からの搬入量</td><td>㎥</td></tr>
<tr><td rowspan="2">排水処理設備の有無</td><td colspan="3">(有)　・　無</td></tr>
<tr><td>排出経路</td><td colspan="2">土側溝にて自然浸透</td></tr>
<tr><td>送電設備</td><td colspan="3">☐鉄塔　☑電柱　☐地下埋設</td></tr>
</table>

（参考様式）（第７条関係）

景観の保全のための措置の検討状況書

項　目		検　討　事　項	配慮する内容
太陽電池モジュール	全体	(1)　稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	稜線や斜面、高台ではない。 土地の掘削はせず、地形に合わせた設置計画にした。
		(2)　公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	小規模設置のため景観への影響は少ない
	配置	(1)　敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	境界からできる限り後退させた。
		(2)　施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	大規模な平滑面が連続しないようにアレイを小さくして計画した。
	規模	(1)　周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	施設の高さは最低限必要な積雪に対応した高さとした。
		(2)　主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	広範囲にならないよう隔離などを最小限に抑えて設置面積を極力抑えた。
	形態・意匠	(1)　当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	パネル設置計画において出来るだけ同じ方角にそろえ、列を合わせ規則性を持たせた。
		(2)　太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	地形に合わせた設置により周囲との整合性に配慮した。
		(3)　太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	周辺道路から裏面が見えにくいようできる限り配慮した。

項　目		検　討　事　項		配慮する内容
太陽電池モジュール	材料・色彩等	(1)　低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		周囲に配慮し、反射防止コーティングされたパネルを選定した。
		(2)　黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		周囲に配慮し濃紺のパネルを選定した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	出来るだけ反射の少ないものを選定するよう配慮した。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	メーカーの仕様として同系色にすることが難しかった。
附帯施設・附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		自然の色に近いものを選定し支柱は緑色とした。メッシュ部分の鉄線はより細いものを選定したため周囲の景観となじみ目立ちにくい。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		中部電力の指示に従い、対応をしていく。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		できる限り色彩に配慮し、自然と調和の取れるものを選定した。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		天然更新とする。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		天然更新とする。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		配置や向き、傾斜角や材料などは近隣の方に迷惑をかけないように十分配慮していきたい。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		月に1～2回定期点検を行う
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		適合を確認し、出来る限りの努力をした。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

（参考様式）（第 19 条関係）

維　持　管　理　計　画

作成日　　2025 年　3 月　15 日

太陽光発電施設の設置場所	塩尻市大字柿沢字笹山 712-6,712-14 塩尻市大字柿沢字入山 714-2	
事業者名（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	長野県小県郡青木村夫神 332-1 株式会社グリーンプランフォー 代表取締役小林桂三 TEL：0268-71-6750 FAX：0268-71-6751	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	同上
合計出力	49.5 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和　48 年　1 月　9 日	
損害保険の加入状況	□有　　☑無	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	自社にて撤去を行い、天然更新により復旧予定。	
維持管理計画及び状況の公表方法	月 1～2 回の自社による定期点検 請求があった際に開示する	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

中部電力、行政と連携をとり速やかに対応できるようにする。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じた時には、二次災害が起きないよう速やかに損壊部分を撤去し、周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合には復旧作業を行い、いち早く元通りになるよう最善を尽くす。

＜別紙＞

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年 24回	1日 15日
			端子箱に破損、変形がないか			
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。			
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。			
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。			
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。			
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。			
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。			
			接続部に緩み、破損がない。			
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。			
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。			
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。			
			ボルト、ナットの緩みがない。			
			固定強度に不足の懸念がない。			
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			
			雨水、じんあい等の侵入がない。			
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。			
漏電遮断器	□	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。			
	□	配線	配線に著しいきず、破損がない。			
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。			
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。			

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。			
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない			
	☑	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。			

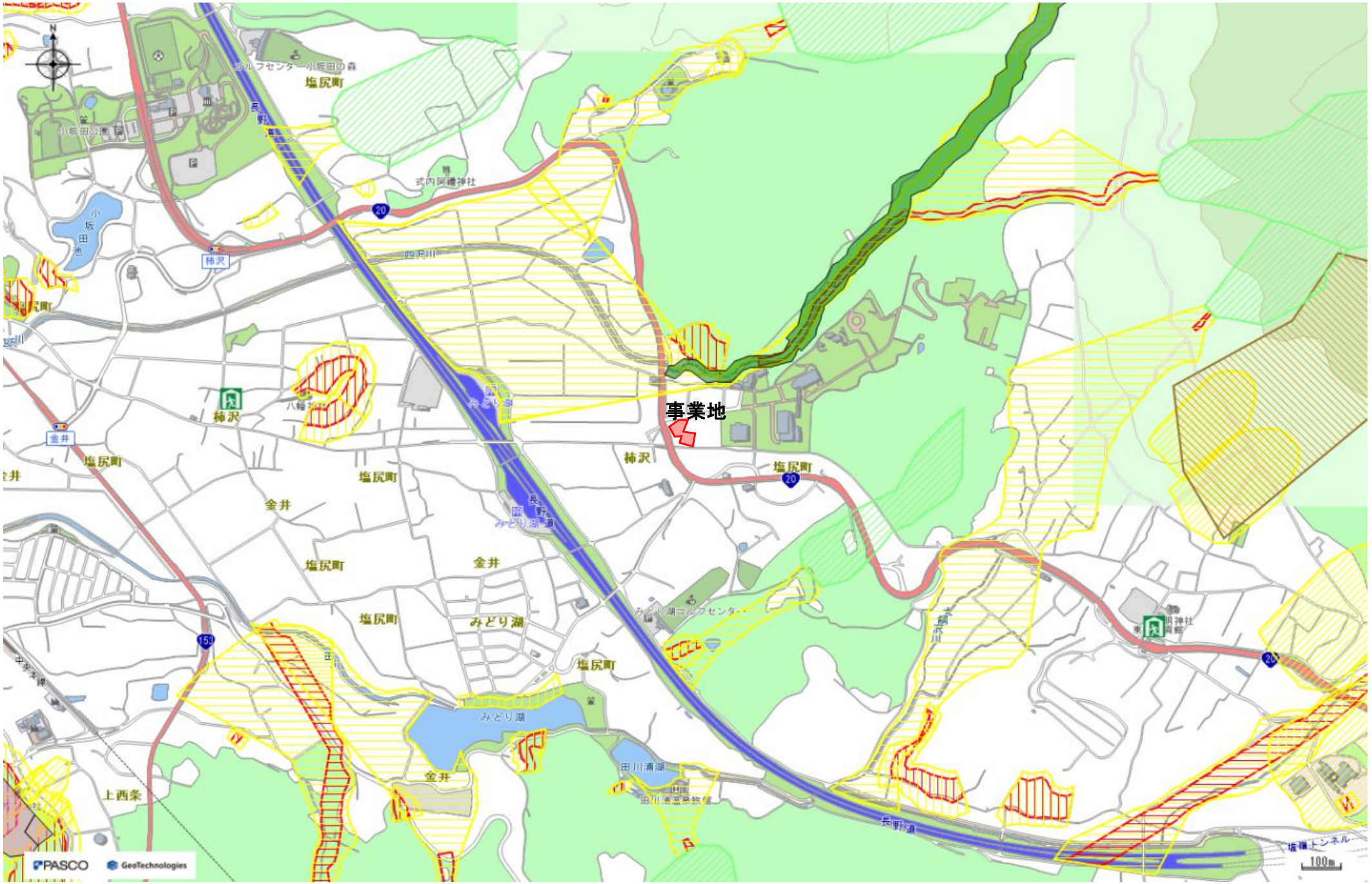
附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	□	切土法面	小段の沈下がない。	目視	年 24回	1日 15日
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	□	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☑	土側溝	水路に落下物等のつまり、堆積がない。			
			亀裂、ずれがない。			
			破損がない。			
			排水設備外への漏水がない。			
調整池	□	提体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			

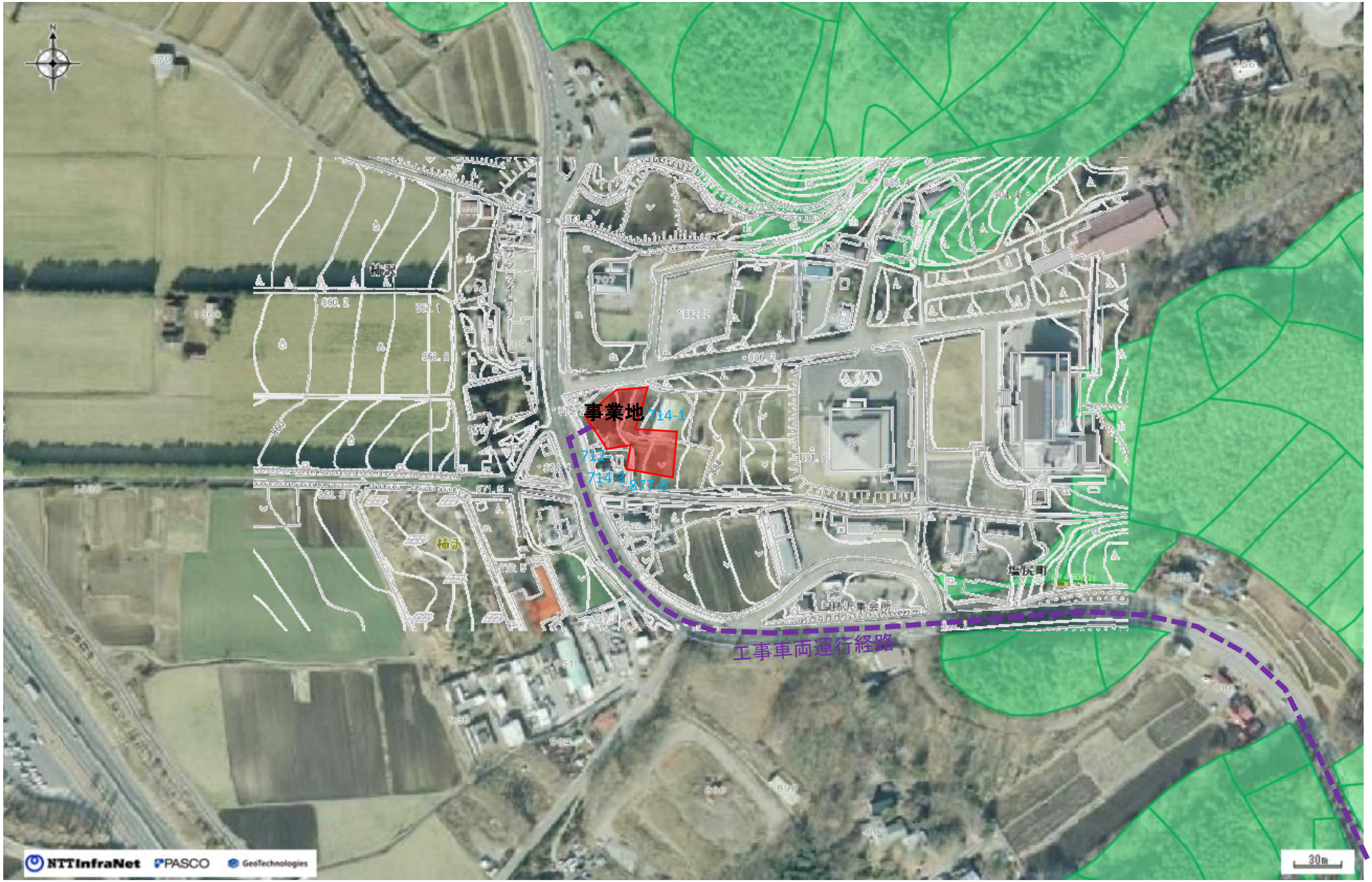
			草木の繁茂がない。			
	□	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	□	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	□	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	□	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☑	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。			
	☑	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。			
	☑	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。			
進入路・管理道	☑	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			
設置地盤	□	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☑	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

位置図



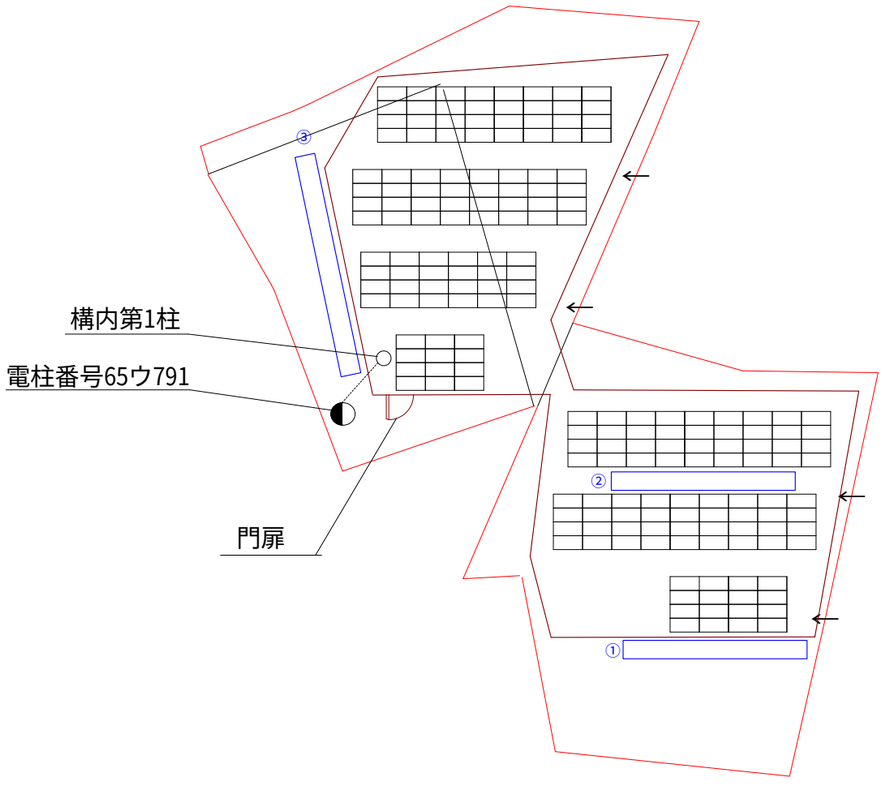
事業区域図


事業地
714-1
712
714-3
877-6
工事車両運行経路
NTTInfraNet
PASCO
GeoTechnologies
30m

GP0026

柿沢712-6,712-14,714-2

S=1:500



	雨水浸透土側溝
	フェンス
	敷地境界線
←	雨水の流れ

工事名	発電所設置工事		
容　量	出力容量　49.5kw	モジュール容量 119.38kw	
モジュール	JAM72D42-635/MB（2278*1134*35）188枚		
モジュール面積	構内第1柱　M門扉 明朝　M S電柱番号65ウ791		
PCS	HUAWEI4.95（SUN2000 4.95KTL NHL2）×10台		
架　台	アルミ架台/ 角度15度 /スクリュー杭基礎		
パネル方位	真南		
	備　考		

		施工者		図番	GP0026	作成者

太陽光発電所　工事計画（柿沢712-6）

		2025年							2026年
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
工事内容	準備・整地	▽――	――▽						
	杭打ち		▽――	――	――▽				
	パネル設置			▽――	――	――	――▽		
	フェンス設置						▽――	――▽	
	電気工事					▽――	――	――▽	
	電力連係								☆
	完了								□
									運転開始2026年1月を目途

眺望点

指定眺望点である高ボッチ高原　3大標高展望広場からは、地形（山）により遮蔽され当該地は見えない。